

第 46 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 5 月 26 日（水）午後 7 時 00 分から午後 7 時 10 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ副部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 全国的に感染状況が収まらない中、本日は京都府の最近の感染状況等を踏まえ、今後の対応について御協議いただくこととしております。
- ・ それでは西脇知事に会議の進行をお願いいたします。

【知 事】

- ・ この間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・ また、緊急事態宣言下ということで、外出、移動の自粛、営業時間の短縮、休業等、様々な措置によって、非常に大きな御負担をおかけしております。
- ・ 府民の皆様、事業者の皆様の御協力に対しても、深く感謝を申し上げたいと思います。
- ・ 皆様の御協力もあり、感染状況については、一定減少局面に入ってきております。
- ・ 本日の府内の感染者数は 81 人、7 日間移動平均で 81.86 人、前週比も 0.61 倍になっております。
- ・ ただ、医療現場の厳しい状況は、依然として続いております。
- ・ 本日は、最近の感染状況、専門家会議の御意見を踏まえ、今後の対応について議論したいと思っております。
- ・ まずは、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 緊急事態措置を実施すべき期間の延長に関する政府への要請について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

- ・ ワクチン接種について、健康福祉部長から、御説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 3 に基づき説明

【知 事】

- ・ ここまでの報告について、松井議長から、御意見をよろしく願います。

【専門家会議議長】

- ・ ようやく感染者数が減少局面に入りました。
- ・ この結果は、ひとえに、府民の皆様の行動の結果であるということを、強く強調しておきたいと思えます。
- ・ ただ、感染者数が下がりきっておらず、まだ重症者病床は逼迫している状況にあるということから、緊急事態宣言の解除はまだ早いというのが専門家会議の結論です。
- ・ 一番大切なことは、リバウンドさせないということです。感染者数は十分に減少させる必要があるということ、また、人流という点から近隣府県との協調が大切であるということを申し上げます。以上です。

【知 事】

- ・ ようやく減少局面に入っておりますが、引き続き、感染者数はそれなりに高い数字であり、また病床については、新規陽性者の減少が直ちには病床の改善に繋がらず、特に医療現場ではしばらくは厳しい状況が続きますので、そういうことも十分認識しなければいけません。
- ・ また近隣府県でインド株が発見されていることは、大きな懸念材料ですので、引き続き、感染者の抑制に努めていく必要があると考えております。
- ・ 次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしく願います。

【京都市危機管理監】

- ・ 宣言の延長は、もう一段感染をしっかり抑え込んでいくためにも、必要な取り組みだと認識しております。
- ・ 感染者数は減少傾向ですが、この間、変異株のこともあり、皆様の御協力を要する状況になっております。
- ・ 今後も措置を行っていく中で、夏場に入ってまいりますので、このあたりの負担感も強まってくると考えられます。
- ・ 措置の内容については、今後、国や三府県も含めて、改めて効果的なものとなるように、調整や

検討をお願いできればと思っております。

- ・ 京都市としても、命と健康、医療提供体制を守っていくために、必要な取り組みであるということを改めてアピールをして、引き続き御理解と御協力を求めてまいりたいと思っております。以上でございます。

【知 事】

- ・ 京都市とは、飲食店等の見回り、また河川敷での見回り等、府市協調で今まで進めてまいりました。
- ・ ぜひとも、今後とも連携して、感染拡大防止に努めたいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・ 他に何か御意見がなければ、事務局案のとおり、政府に対して、大阪府、兵庫県と連携をして、緊急事態措置を実施すべき期間の延長を要請することとしたいと思います。
- ・ その他に、各部局からの報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。
- ・ 先ほども申し上げましたが、依然として感染者数が高い水準にあり、医療提供体制の厳しい状況は続きますので、当然、現状で緊急事態宣言の解除を議論する段階にはないということで、今回、延長の要請を決定しました。
- ・ 次の2点について、万全の対応をお願いしたいと思います。
- ・ 1点目は、措置の期間の延長を要請することを決定しました。
- ・ この後、それを踏まえて、国の方で決定されますが、それが決定されることを想定して、京都府の緊急事態措置の内容についても、国との協議をしながら、至急検討していただきたい。
- ・ 2点目は、ワクチンについて報告しましたが、いよいよ京都府による大規模接種も具体的な動きに入ります。
- ・ 今まで経験したことのない大規模な接種ということで、様々な課題がありますが、オール京都で取り組んでいかないと解決できないと思っておりますので、接種スタッフの確保等の多くの課題について、きっちりと市町村を支援し、関係の皆様と連携をして、ワクチン接種の円滑かつ確実な実施に努めていただきたい。
- ・ 以上2点、よろしくお願いします。
- ・ いずれにしても、まだまだ厳しい状況が続きますので、緊張感を持って対応していただくよう、よろしくお願いします。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取り組みをお願いいたします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監におかれては、御出席いただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ 以上をもちまして、対策本部会議を終了いたします。